

小学校

s 3-11

重さ

(メモリのよみ方)

3学年

【ねらい】

重さの測定の仕方を理解する。

【特徴】

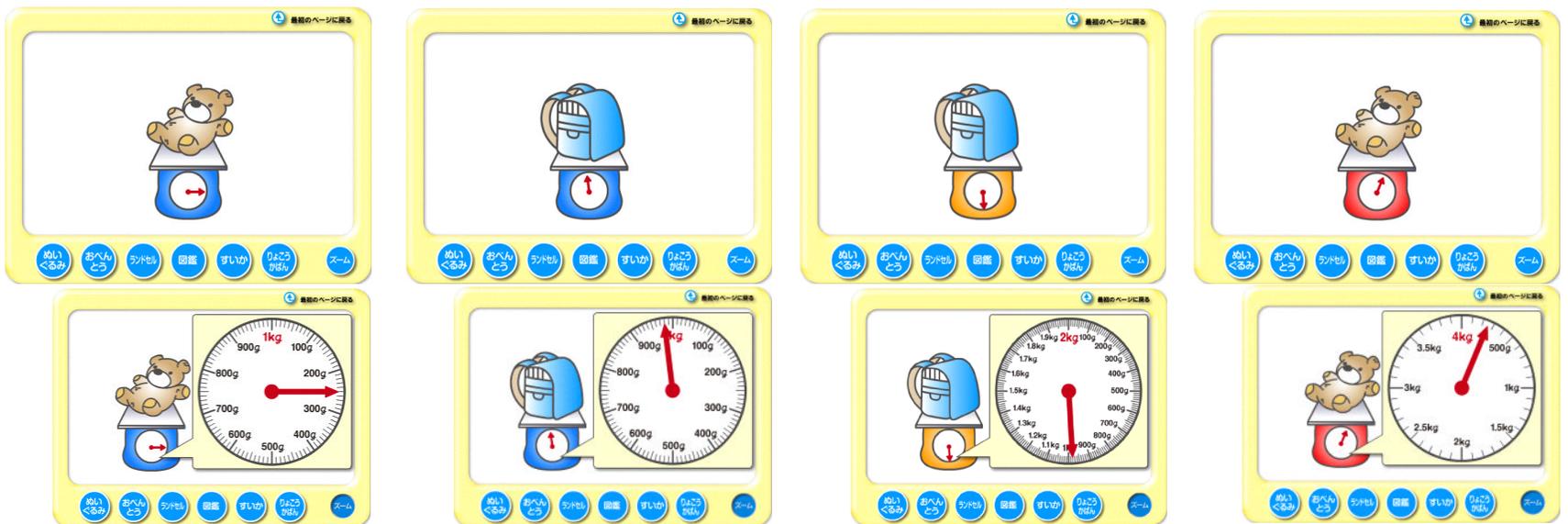
◇ 品物を載せたときの細かい目盛りを、「ズーム」ボタンをクリックすることによって表示することができます。

【関連する単元】

◇ 小学4年「面積の単位と測定」



【活用場面】 導入段階の課題提示、算数的活動の後の検証



量感の必要性を感じさせ、計器を適切に選ぶことができる児童を育みます

品物を載せたとき、正確な目盛りが表示されないため、重さの見積もりをさせることができます。また、4種類のはかりを比較しながら考察させることができるため、適切な計器を選ぶ力をつけるための課題提示に活用できます。

- ◇ 何種類かの品物の名称だけを紹介し、重さを予想させます。
- ◇ 適切な秤を予想させ、実際に載せて針の振れを見せます。
- ◇ 拡大表示したメモリを提示し選んだ計器がふさわしかったを考えさせ、言葉で表現するよう促します。
- ◇ ふさわしくなかった場合の理由と、ではどの秤を使えばいいかを発表させます。
- ◇ 適切であると考えた秤で量り、確認します。

※ ここで示された重さを、水を入れたペットボトルで「〇本と半分ぐらい…」などと表してみたり、身近なものの中から同じような重さのものを探してみたりすることも、大切なポイントです。